



交換中の作品の様子 | 部分



作品開封の様子



交換中の作品の様子



作品開封の様子

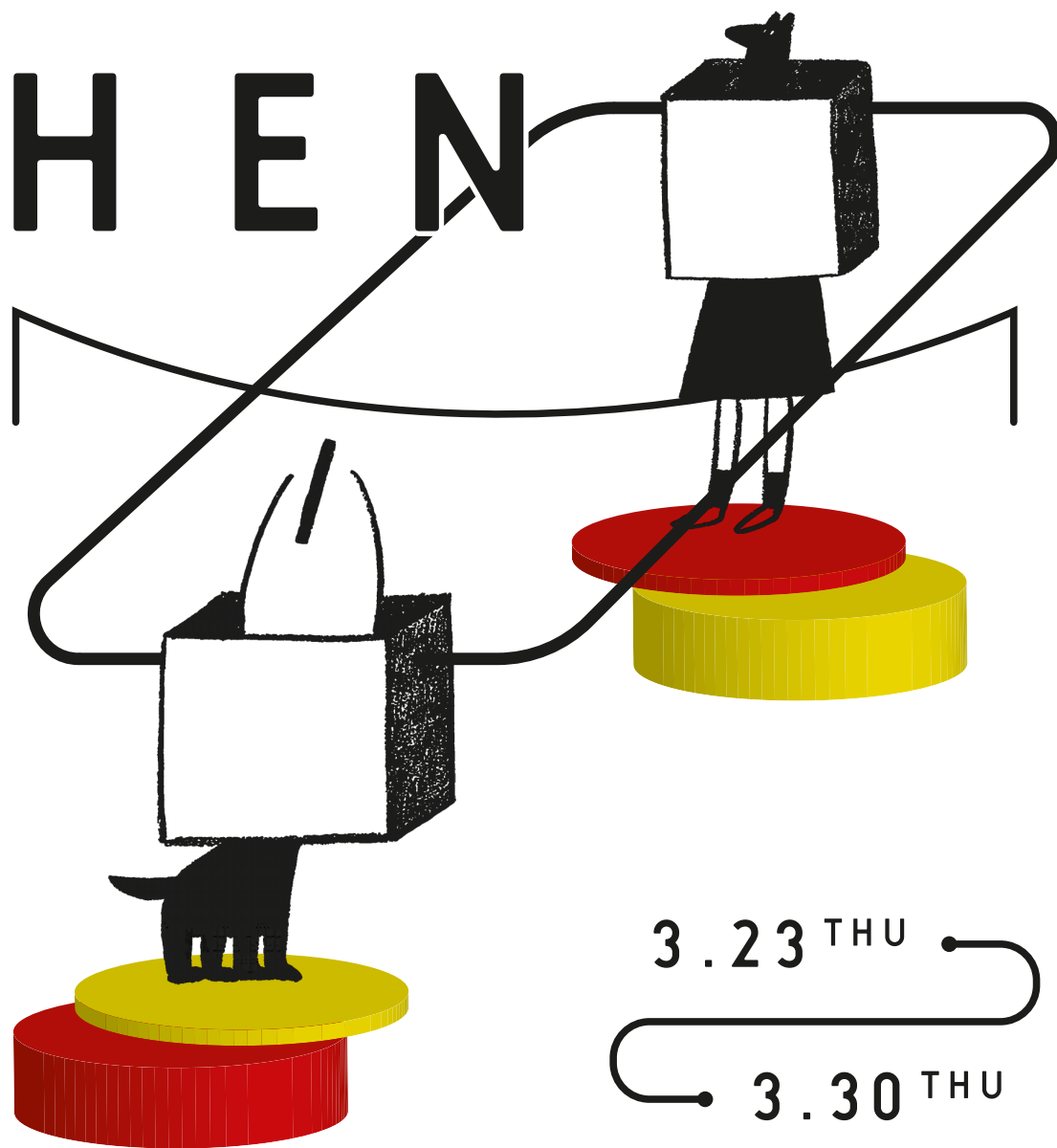
OPEN KITCHEN

京都市立芸術大学主催
拡張された場におけるアートマネジメント人材育成事業
状況のアーキテクチャー
テーマ2 Tracing Life: 生存の技法 — ケア×アート
プロジェクト「オープンキッチン」成果展

たんぽぽの家

↓ ↑

京都市立芸術大学



- JURI ITO
- KAZUKO KOMATSU
- MAYUMI NAKAMURA
- KOICHIRO HAGIHARA
- MASASHI YAMANO
- NAOKO AYUKAWA
- SETSUKA KAWAHARA
- AKANE DOI
- MOMO MUTO
- MAKOTO YAMAGUCHI
- HARUKA KANO

3.23 THU

3.30 THU

京都市立芸術大学ギャラリー @KCUA

11:00-19:00 休館日 27 MON

3月23日木 - 3月30日木

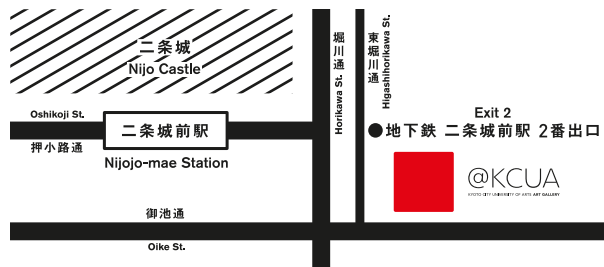
11:00-19:00 休館日 3月27日月

オープンキッチンとは、たんぼぼの家と京都市立芸術大学、両者の距離を探りあてるためのプロジェクトです。たんぼぼの家のアーティストと京都市立芸術大学の学生が五つのペアを組み、作品を取り交わします。作品は箱に入って届けられ、つくり足すのも、つくり変えるのも、別の作品を返すのも、自由！こうしたやりとりは2016年夏より、現在まで続いています。本展では、結果としての作品だけを提示するのではなく、それに到るまでの映像や写真、手記をあわせて展示いたします。時にあやうい足取りを、それでも楽しみながら進んでゆく、奇妙な文通の記録をご覧ください。



京都市立芸術大学ギャラリー @KCUA アクセス
〒604-0052 京都市中京区御池押油小路町238-1
〒075 253 1509 <http://gallery.kcuu.ac.jp>

交通案内
地下鉄「二条城前」駅(2番出口)徒歩約3分
市バス・京都バス「堀川御池」バス停下車すぐ



OPEN KITCHEN

たんぼぼの家
↑
↓
京都市立芸術大学

…水色も赤も光ってることが大事だから、光の明るさがあって、輪つなぎがどんどん手裏剣のように変わって、光の明るさがどんどん変わってきて黄色もたくさんあります。黄色から緑に変わって、緑からピンクに変わって、ピンクから白に変わることが一度に大事です。赤や緑も大事だから、手裏剣のように変わってきて、星のようになります。星形のように変わった光が空に、舞い上がって、花火のように舞い上がって、光のように、峠を越えて光のように、空の高いところで花火のように舞い上がって宇宙を旅することが大事です。宇宙の花火の旅立ちもあって新しい光が、一斉に光って、明るさがどんどん爽やかな光がどんどん目立つようになりました。

— 伊藤樹里 (本展出品作家, 1月21日の文章作品より抜粋)



たんぼぼの家とは？

「アート」と「ケア」の視点から、奈良市を拠点に活動する市民団体。従来のアートの枠組みを超えた形で、障害のある人達の創造活動を支援している。

【関連イベント】

「輪つなぎカフェ」作家によるトーク、お茶会
3月30日* 13:00-15:00

出演 || 本展出品作家

出品作家である京都市立芸術大学の学生とたんぼぼの家作家による作品トークを行います。どなたでも参加できますので、ふるってご参加ください。

【会期中イベント】

ライブペインティング

展示会のサイン壁にはどなたでも落書きすることが可能です。出品作家が在廊する日にはライブペイントが行われます。(不定期)

イベント内容の詳細はURLをご参照ください。

<http://www.kcuu.ac.jp/art-m/#open-kitchen>

京都市立芸術大学
Kyoto City University of Arts

@KCUA
KYOTO CITY UNIVERSITY OF ARTS ART GALLERY



大学から
文化力
POWER OF CULTURE

【出展作家プロフィール】

伊藤樹里 (書家 雅号 | 伊藤遊兎, パフォーマー | JURIX)

1977年生まれ | 奈良県出身

日々のルーティンワークを大切な「人生の仕事」としている。思い出を綴る「ニュース」書きと鉛筆の削りカスの収集、捨てるはずの葉のカラ、一日4回のラジオ体操...etc.。書家やパフォーマーとしての顔も持ち合わせ、毎日の営みをあらゆる手法で表現している。

小松和子

1970年生まれ | 奈良県出身

自らをとりまく人々への感謝の想いが、色・形・模様となり表れる。繊細な色彩に自分の内なる世界観をのせ、見る人をその内側へ引きずり込む。現在は絵画制作にとどまらず、詩や物語をつくるなど、さまざまな表現に取り組んでいる。

中村真由美

1985年生まれ | 奈良県出身

さまざまな技法を用いて作品を作り出す。色鉛筆やアクリルで描いたポップでカラフルなイラスト、それを立体にした動物の張り子、油彩やペンで緻密に映し出された点描画。多様な素材をたくみに使い「今、つくりたいもの」を生み出していく。

萩原宏一郎

1965年生まれ | 大阪府出身

制作スタイルは一環して点描。流れるように打ちこめられるドットワークは、ときに優しく、ときに厳しく、ときに激しくその形態を変化させ、自分自身の多面性をも映し出す。生まれる点は己の血肉を写しだし、縦横無尽に駆け回る。

山野将志

1977年生まれ | 奈良県出身

植物や動物・昆虫などの生命と対話するように描く。森や空などの自然も全身で感じ取り、力強い線と豊かな色彩を重ねていく。お出かけすること、人とおしゃべりすること、ご飯を食べに行くこと…。すべてが自分を表現する大切なものとしてつながっている。

鮎川奈央子

1995年生まれ | 山梨県出身

生き物のそなえている不思議なかたちや、おかしみのある表情を表現することに熱中している。彫刻、陶磁器、絵画をまたぎ、ジャンルにとらわれないものづくりを通じて、生き物たちの豊かな暮らしの一助になりたい。

河原雪花

1997年生まれ | 大阪府出身

アニメーションや実写映画、ミュージックビデオ、VRなど、映像を媒体に作品を作っている。

土居あかね

1994年生まれ | 大阪府出身

現在京都市立芸術大学大学院にて陶芸を学んでいる。陶磁器を用いた空間作りに興味があり、壁面表現や釉薬を用いた表現を中心に制作を行っている。

武藤桃

1994年生まれ | 神奈川県出身

人と人の関係性や会話から生まれる偶然性や齟齬などを題材にしたインスタレーション、映像作品など、様々な媒体での制作を行っている。

山口真琴

1997年生まれ | 香川県出身

日常の生活で気になったものをモチーフに制作をしている。身の回りにあるデザイン、絵画や立体表現に触れながら、作品制作を通して自分の表現を模索している。

加納明香

1994年生まれ | 滋賀県出身

おもに風景をモチーフとして絵画を制作している。絵のなかに、普段物質として感じられる「もの」大気のようなそうではない「もの」それぞれの住み分けや、奥行きが捉えなおされていくような空間的拡がりをつくりだすことに興味がある。また、その空間のざわめきを捉えたいと思っている。